

事業箇所評価基準表

24	県事業
事業名	ダム事業
担当部課室	土木部 河川課

評価軸	評価項目	評価指標	ウェイト
. 利便性の向上			-
. 安全の確保 (必要性)	洪水により氾濫が想定される区域の状況	区域内に住宅・農地等の資産がどのくらい存在しているか	4.8
		区域内における道路、鉄道等の交通網の延長	2.6
		災害時要援護者関連であるとともに、災害時の避難・養護施設となりうる公共施設(学校・病院)の数	2.3
		災害に対し災害時要援護者となりやすい高齢者の割合	3.2
	過去の災害状況	過去10年で浸水の被害を受けた回数、住宅数や農地の面積	9.1
	河川の現況	ダムが建設される河川の流域面積	3.3
		計画の目標とする河川流量と現況で流せる河川流量の差	7.0
事業効果	ダムの建設により軽減できる洪水時の河川流量	17.6	
. 環境の保全 (有効性)	自然環境	保全対策を行った後でもダムの建設によって影響を受ける動植物があるかどうか	7.4
	河川の現況流量	河川の渇水時にダムから補給水を流すかどうか	8.2
IV. 地域経済への貢献			-
. 地域社会 (生活環境)の向上 (必要性) (有効性)	農業(かんがい)用水の確保	ダムの建設により補給される農業用水を使用する農地の面積	3.5
	上水道用水の確保	ダムの建設により新たに補給される上水道用水の水量	6.3
	過去の渇水被害状況	過去10年で渇水による影響を受けた回数、農地の面積や上水道の供給を受ける人口	6.2
	ダム建設により水没する地域の状況	ダムの建設により水没する住宅の戸数、農地の面積	4.0
		ダムの建設に対する反対があるかどうか	1.6
. 事業の効率性 (効率性)	関連事業	農業水利事業や上水道施設事業など、ダムの建設と関連する事業があるかどうか	12.9
合 計			100

1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウェイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点です。

2 この基準表は、土木部用です。